

令和6年度 学校評価の5点セット整理票

2学期版

日田市	立	大山中	学校	令和6年8月5日	
【学校の教育目標】		ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成（小・中学校共通） ～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）～			
【育成を目指す資質・能力】		『 言語能力（他者と協働するための対話力） 』			
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	担当	
〔知識及び技能の習得〕 生きて働く基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期テスト全教科における基礎・基本問題の 正答率 7.0%以上 ○ 生徒アンケート「文章の構成やことばの選び方が上手になった」と答える生徒が70%以上 	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の定着 ○ 文章構成や適切なことばを選ぶ力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5教科の授業において、授業開始時に基礎・基本に係る小テストを毎時間実施するとともに、月に1回確認テストを行う。 ○ 朝学習の時間に、新聞コラムの視写と感想、コラムについての条件作文を行う。 月・火・水…コラム視写+感想 木…コラム条件作文 ○ 保護者は、毎日子どもとの会話を心掛け実践する。 ○ 学期に1回以上、通信を使って、啓発を行う。 ○ 地域でのあいさつに声掛けをプラスして行い、会話する。 	「健やかな体」チーム
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭内での会話の推進 		
		地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ+声かけを行う 		
〔思考力、判断力、表現力の育成〕 未知の状況にも対応できる思考力・表現力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒による授業評価「小集団（ペア）の話し合いで、自分の考えを友だちに伝えたり深めたりすることができましたか」の項目に対して「できた」と答える生徒75% 定期テストの思考力・判断力・表現力を問う記述式問題の 正答率 6.8%以上 ○ 6.8%以上 	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新大分スタンダードによる授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「対話」を通して自分の考えを整理し、根拠を持って広げる場を、小単元に1回以上設定する。 ○ 問題解決的な展開に焦点を絞った授業実践交流を学期に1回以上実施する。 ○ 保護者は、学期に1回以上、家庭学習時間の点検を行う ○ 定期テストに合わせ、通信を使って、啓発・協力依頼を行う。 ○ CSは学習サポーターの派遣などを学校の要請に基づいて協力する 	「確かな学び」チーム
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭での学習習慣の確立 		
		地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習サポーターとしての授業への参画 		
〔学びを人生や社会に生かそうとする〕 他者と協働する意欲や課題解決力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒アンケート「大山町の一員として、故郷に貢献できる活動に関わりたいと答える生徒5.0%以上 生徒アンケート「授業や生徒化活動で、友人と意見交換しながら課題解決に取り組むことができましたか」で「できた」と答える生徒60%以上 生徒アンケート「いじめや差別をしない・許さない生活ができた」で「できている」と答える生徒85%以上 	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域貢献活動の実践 ○ 全校生徒による課題解決の実践 ○ いじめや差別をしない・許さない生徒育成のための生徒会活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会は、地域貢献活動を企画・実践し、還流の場を学期に1回以上設定する。 地域からの要請があった場合、呼びかけを行う。 ○ 生徒会は、学校生活改善を目的とした生徒集会（意見交換会）を学期に1回以上開催する。 ○ 大山中学校人権宣言及び、各学級の則に関する振り返りの場を学期に1回以上設定する。 ○ 保護者は、生徒に地域貢献活動の募集があった場合、参加の声掛けや参加体制を整える。 ○ 地域貢献活動の募集があった場合、通信を使って保護者に協力依頼を行う。 ○ 地域は、生徒が参加できる地域貢献活動をCSを通じて学期に1回以上提供する。 	「豊かな心」チーム
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域貢献活動への参加協力 		
		地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域貢献活動の場の提供 		
		学校等	<ul style="list-style-type: none"> ○ チームや学年部を活用した業務の見直し ○ 地域の学校支援活動の充実 		
〔働き方改革の推進〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各月の目標退勤時間内に退勤する職員72%以上 ○ 効果・効率的な働き方に努めた結果「時間外勤務時間が縮減した」実感を持つ教職員80%以上 	学校等	<ul style="list-style-type: none"> ○ チームや学年部を活用した業務の見直し ○ 地域の学校支援活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理職は組織業務化を図るとともに、学期に1回の個人面談を行う。 ○ 運営委員会は、月1回時間外勤務の状況把握と要因の検証を行う。 ○ 学期に1回以上、授業や行事での補助人材を提供する。 ※学校運営協議会にて地域人材の情報提供をする。 	管理職